

月 日	発表者	お問い合わせ先	
		電話番号	担当者
令和4年11月30日(水) 午後2時	関西広域連合 広域産業振興局 産業振興企画課 (大阪府 商工労働部 商工労働総務課)	06-6614-0950	課長補佐 中西 主 査 窪田

医療・介護・薬局 Week 大阪（通称：メディカル ジャパン 大阪）に出展します！ 『関西バイオクラスター』

関西広域連合広域産業振興局は、「第9回 医療・介護・薬局 Week 大阪（通称：メディカル ジャパン 大阪）」に出展します。

国内有数の医療・ライフサイエンスの企業や研究機関等が集結する関西の産業ポテンシャルをPR するため、「関西バイオクラスター」と題して、ブース出展やセミナー・ウェビナーの開催、また、医療機器オンライン特別相談会を実施いたします。

ブース出展では、産学官連携により実現した関西が誇るオンリーワンの製品・試作品・技術を、見て、触れることのできる体験の機会をご用意します。入力情報の自動要約システムにより多忙な医師の事務作業改善を実現するカルテ活用サービスや、空中に浮かぶ映像で操作可能な非接触タッチディスプレイ等、最先端の研究から生まれたユニークかつ革新的な製品・試作品を14点ラインナップしています。このほか、パネルやPR 動画等を利用し、関西や関西広域連合について分かりやすくご紹介します。

セミナー・ウェビナーは、大学・企業・研究機関等が企業とのマッチングを目的として、研究成果の企業化を促進するために発表を行います。認知症予防やがん等をテーマに、長寿・健康・ウェルビーイングに繋がる興味深い内容になっており一聴の価値あります。

医療機器オンライン特別相談会は、事前予約制にて無料で実施します。薬事上の基礎的・初歩的な相談に加え、市場調査や製品開発、販路開拓など様々な相談に経験豊富なアドバイザーが対応いたしますので、医療機器・医療周辺分野等へのビジネス参入にご関心のある方はぜひご利用ください。

さらに！関西広域連合独自のバーチャルブースを開設します！産学官連携事例はメディカルジャパン開催に先駆けてバーチャルブース上で公開し、各出展社とのマッチング申し込みも可能です。研究成果企業化促進セミナーの一部は会場開催ですが、バーチャルブース上で後日アーカイブ配信をするため、時間の制約を受けず、最先端の研究内容をお聴きいただくことが可能です。

医療・ライフサイエンスの関西の高いポテンシャルが一度に体験いただける関西広域連合の「関西バイオクラスター」では、新たなビジネスのヒントが見つかること間違いなしです。会場、オンラインともに、みなさまのご来場、ご訪問をお待ちしております！

■ 出展概要

展示会名	第9回 医療・介護・薬局 Week 大阪（通称：メディカル ジャパン 大阪）
会 期	令和5年1月18日（水）～20日（金）
会 場	インテックス大阪（大阪市住之江区南港北1丁目5-102）
ブース名	「関西バイオクラスター」（6号館 病院 EXPO 内 ブースNo.A9-14）
取 組 (1、2の詳細は p.4～（別紙） 参照)	<p>1 ブース出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産学官連携による製品・試作品の展示 <ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携で実現した製品・試作品を14点展示 ○関西のバイオの強み・ポテンシャルと関西及び関西広域連合の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・国内最大級のバイオクラスター「関西バイオクラスター」の紹介 ・関西広域連合の概要、広域産業振興局の取組などをパネルで紹介 ・ライフサイエンスのPR 動画放映 ○タブレット端末設置 <ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合バーチャルブース訪問・ウェビナー視聴用のタブレットを用意 ○商談スペースの設置 <ul style="list-style-type: none"> ・出展企業担当者から説明を聞き、商談できるスペースの提供（1カ所）
	<p>2 会場内セミナー・ウェビナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会場内セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・1月18日(水)～20日(金)13時30分～14時にて各日開催 (後日、関西広域連合バーチャルブース内にてアーカイブ配信) ○ウェビナー <ul style="list-style-type: none"> ・1月18日(水)～2月17日(金)にて関西広域連合バーチャルブース内で公開、会場内ブース設置タブレットでも視聴可能
	<p>3 医療機器オンライン特別相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療機器・医療周辺ビジネスの参入に関する事、薬事法・機器開発に関する事等、各種相談業務を受付 <ul style="list-style-type: none"> ・1月18日(水)～20日(金)10時～17時にて受付 (1月10日(火)17時までにて要事前申込) ・オンライン(Zoom) ・相談無料(1コマ原則30分以内) <p>※お申込みの詳細は後日広域産業振興局ホームページ上にてご案内</p>

	<p>4 バーチャルブースの設置（令和5年1月10日(火)～2月17日(金)）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産学官連携による製品・試作品の展示（14点） <ul style="list-style-type: none"> ・展示製品等は会場内でのリアル展示と同一 ○研究成果企業化促進セミナーをウェビナーとして配信 <ul style="list-style-type: none"> ・ウェビナー4本に加え、会場内実施セミナー3本を後日アーカイブ配信 ○オンライン商談受付（マッチング申し込み） <ul style="list-style-type: none"> ・1月10日(火)より各出展者とのオンライン商談の申込を受付 ※お申込みの詳細は後日関西広域連合ホームページ上にてご案内
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※関西広域連合広域産業振興局ホームページ

<https://www.kouiki-kansai.jp/koikirengo/jisijimu/sanshin/index.html>

(参考)

「第9回 医療・介護・薬局 Week 大阪（通称：メディカル ジャパン 大阪）」について

病院 EXPO／クリニック EXPO／介護&看護 EXPO／次世代薬局 EXPO／感染対策 EXPO の5展で構成され、これらに関わるあらゆる製品・技術・サービスが一堂に出展する、医療と介護の両分野を網羅する国内最大級の医療の総合展。日本初の医療の総合展として平成26年度（2015年）に初めて開催され、今年で9回目をむかえる。

関西の強みであるバイオ・ライフサイエンス分野におけるビジネスの場を提供するため、関西広域連合が主催者であるRX Japan 株式会社（旧 リード エグジビション ジャパン株式会社）に働きかけ誘致が実現した経緯があり、関西広域連合は第1回展より特別協力という立場で関与・参加してきた。（平成31年（2019年）から東京展・併催展が開始。）

コロナ禍前までは、東京展・併催展を含めると出展社数・来場者数ともに右肩上がりでも推移しており、（大阪展の昨年度実績は出展社数367社、来場者数6,586人）本年度は500社の出展が見込まれている。

主 催：RX Japan 株式会社（旧 リード エグジビション ジャパン株式会社）

特別協力：関西広域連合

主催者HP：<https://www.medical-jpn.jp/osaka/ja-jp.html>

Facebook：<https://www.facebook.com/medical.jpn/>

Twitter：https://twitter.com/medical_jpn

■産学官連携事例展示 (※製品等紹介文は、各出展企業等が作成)

◆排尿日誌自動記録システム「ウロダイアリーチェッカー」

(インダメディカル株式会社 × 滋賀医科大学 泌尿器科学講座)

排尿障害のある患者は、排尿の時刻と量を排尿の度に確認し、結果を排尿日誌に手書き記録することが求められています。しかし、特に高齢者については、採尿カップ内の目盛の読取ミスや記録ミスが発生し易く、苦痛な作業となっています。滋賀医科大学様との共同研究を通じて、患者、医師、看護師と知見を頂き、簡便な製品を開発することができました。ウロダイアリーチェッカーは、採尿カップ等を置くだけで尿量の測定と排尿日誌の作成・分析を自動的に行い、患者・医師及び看護師の負担軽減を致します。



◆ゆびレコーダーリハビリモデル

◆フォースプレート

(株式会社テック技販 × 京都府橋大学、奈良県立医科大学)

手が麻痺した人は、通常の5倍の力で握ってしまう！この事実、ご存知でしたか？

その触ったという感覚を取り戻すために、ゆびレコーダーリハビリモデル触覚フィードバック技術を新たにリハビリテーション装置として開発中。中枢性神経障害の患者における感覚運動機能障害に対するリハビリ現場で新しいアプローチを提供します。

めまい症の評価を姿勢推定から可能とした新しい評価を提案。医療機器に申請しているフォースプレート上に乗るだけでめまい症の病態推定が可能となります。その他の病態推定のアルゴリズムも開発中。



◆オーラルケアトローチ リフレル

(株式会社メディボ、富士産業株式会社 × 大阪歯科大学)

株式会社メディボは、現役の歯科医師らが運営する医療機器製造販売会社です。現場を知る歯科医師だからこそ、医療限界の壁のブレイクスルーには新しい医療機器開発が必要と感じ、母校の大阪歯科大学と連携して、歯科医師自ら臨床開発、科学的検証、薬事承認を手掛けています。企業と研究機関をつなぎ、産学連携で持続可能な「治ればいい」の社会実現を目指しています。

本展示では、自然由来有効成分IP2配合の「オーラルケアトローチ リフレル」をご紹介します。



◆ハッサク由来オーラプテン (熱中症対策)

(株式会社 和環 × 和歌山県工業技術センター、東洋大学)

和歌山県が70%以上という圧倒的収穫量を誇るハッサクを原料とした熱中症対策商品開発向け原料材料です。

※特許第6557893号 熱中症の予防、軽減及び/又は治療のための組成物 (東洋大学)

通常は廃棄となるハッサク加工品残渣から機能性成分であるオーラプテンを抽出。

対症療法しかなかった熱中症対策に関して「オーラプテンを摂取することで熱に強い血管にこそそもそも熱中症のこりにくい身体を目指す」という【熱中症予防】という全く新しい切り口の商材です。



◆紙製フェイスシールド「ORIGAMI」

◆使い捨て温冷調整専用紙トレー「ぼんだがぁ」

(有限会社サンバック × 鳥取大学医学部附属病院)

鳥取大学医学部附属病院から出たニーズを共同開発して商品化し、全国販売へ繋がった感染症対策商品です。

・紙製フェイスシールド「ORIGAMI」

1枚の紙を折り紙のように簡単に折り畳んで使用します。紙製で環境にもやさしくコストも安い大ヒット商品です。

・使い捨て温冷調整専用紙トレー「ぼんだがぁ」

従来の植指トレーと同様の使用感に近い、適温調整車に挿入しやすい紙トレーです。紙製で使い捨てで、衛生的です。



◆ドアハンドル部紫外線殺菌ユニット

(日本フネ株式会社 × 徳島大学医学部予防環境栄養学分野、徳島県立工業技術センター)

不特定多数の人が出入りする共用部のドアハンドル部に紫外線殺菌ユニットを設置することで、短時間でハンドル部に付着したウイルスや細菌を全自動で不活化・殺菌します。

60秒間 紫外線を照射することで、コロナウイルスを99%以上、インフルエンザウイルスを99.9%以上不活化することができます。

コロナウイルスやインフルエンザウイルスだけでなく、様々なウイルスの不活化や病原性大腸菌などの細菌を殺菌することも可能です。



◆カルテ活用サービス

(エニシア株式会社 × 京都大学)

エニシアは、カルテ情報の自動要約システム導入による医師事務作業の改善効果を分析するために、京都大学医学部附属病院と共同研究を行っています。要約システムを支える医療テキスト構造化は技術の開発を継続しており、産学連携成果として「カルテ活用サービス」を開発しました。

「カルテ活用サービス」は、製薬及び医療関連企業に対し、患者の詳細な経歴が含まれるカルテテキストなどの非構造化データを構造化し、新しい診断支援・診療支援や創薬プロセス効率化を実現する医療情報を自動抽出・生成するサービスです。



◆空中タッチディスプレイ

(株式会社パーティ・イノベーションズ × 情報通信研究機構、大阪公立大学、大阪産業技術研究所)

「空中ディスプレイ」はSF映画などに登場し、その現実化が期待されてきましたが「パーティミラー®」によって空中に実像を浮かび上がらせることを実現しました。

液晶ディスプレイなど任意のものをただ背面に置いただけで、その映像を何も無い空中に映し出す光学素子「パーティミラー®」の開発が成功しました。フルカラーで歪みなく空中に浮かび上がらせる世界初の結像光学素子です。「パーティミラー®」により表示された空中映像は裸眼で観察でき、特殊なメガネやヘッドマウントディスプレイの装着を必要とせず、映像ソースの特殊な編集・変換作業も必要としません。さらに、センサーと組み合わせることで、物理的な接触なしに空中に表示させた映像に指でさわって操作できる「空中スイッチ」や「空中タッチディスプレイ」を実現しました。

これにより非接触ユーザーインターフェイスが構築可能となります。いま世界が直面している大きな課題の一つにウイルス感染がありますがウイルス感染を防ぐ有効な手段は非接触であり、非接触ユーザーインターフェイスが大きな効果を発揮すると期待されています。



◆ケアサポートウォッチ

(株式会社ソフトアップ) × 関西福祉科学大学)

介護施設利用中の複数利用者の健康状態 (SPO2、心拍数、体温) を一括管理し、異常時にはアラームを発生するシステムになります。

常に医師が常駐していない高齢施設環境で高齢者の安全を守り、健康リスクのある高齢者を対象とした身体情報を管理し、ICT機器に経験や知識のない介護職員の方でも安心して運用ができる新しいサービスです。バイタルデータ活用により、個々に応じた負荷量のメニューを提供することが可能となります。



◆やさしい抑制帯 肘守(ひじもり)

(株式会社ユタックス × 地方独立行政法人神戸市民病院機構神戸市立医療センター中央市民病院)

介護の現場での問題の1つに、高齢者の身体拘束があります。「ひじもり」は、看護する側・される側どちらにも優しい、新しい抑制帯です。従来の抑制帯及び拘束具に比べ、患者への負担が少なく見た目着用感が既存品のような威圧感を与えません。取り付けは容易ですが、患者自身が外すことは困難です。従来の面ファスナーのような引っかかりや音も無い特許素材の自着生地を使用しており、優しい素材感で肌や衣類を傷つけません。

固定フレーム：外側に発泡体のクッション、芯材にPPのプレートに縫い合わせることで肌への食い込みが少なく患者への負担が少ない。フレームの脱着が可能なので、本体の洗濯も可能。

滑り止め：製品内側の滑り止めが肌面に密着することで患者が勝手に取り外せないようになります。抑制する関節部分を正確に取り付ける事を狙います。

長さ調節機能：特殊な自着生地の採用により、抑制調整が幅広く使えます。体形の違いや、腕から足関節など幅広く使用することが可能です。



◆Heartnote®

(国立循環器病研究センター × JSR 株式会社)

◆ped UT-Heart (心臓シミュレーター)

(国立循環器病研究センター、東京大学 × 株式会社UT-Heart 研究所、株式会社クロスエフェクト、PIA 株式会社、ジャパンメディカルデバイス株式会社)

企業等との共同研究により、研究成果の社会実装を目指しています。事例をご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。

電極一体型ホルター心電計 Heartnote®は、JSR 株式会社との共同研究により開発されました。装着したまま入浴が可能で、最大7日間の心電図測定が可能です。24時間測定では捉えにくい不整脈の検出がしやすくなりました。

ped UT-Heart は、世界最高峰の心臓シミュレータ UT-Heart を、患者により病態が大きく異なり構造が複雑な小児先天性心疾患の手術シミュレーションに特化して改編、技術的に困難な小児心臓外科手術の術式決定の支援を可能にします。



■展示会場内 セミナープログラム

日時	発表者・内容
1月18日(水) 13時30分~14時	「糖尿病にさようなら！」 滋賀医科大学再生医療研究所 特別教授 小島 秀人
1月19日(木) 13時30分~14時	「微細メッシュ上でヒト細胞を3D構造に培養できる革新的デバイス」 株式会社水田製作所 代表取締役社長 水田 太郎
1月20日(金) 13時30分~14時	「認知症予防に向けた脳の健康維持装置」 神戸大学 産官学連携本部 客員教授 山川 義徳

■ウェビナー プログラム (関西広域連合バーチャルブース内にて公開)

「抗がん剤排出タンパク質とがんの関係」 近畿大学生物理工学部遺伝子工学科 准教授 田口 善智
「臨床検査技師として参画した医療機器開発人材育成共学講座「雲水コース」の活動報告」 鳥取大学医学部附属病院 臨床検査技師(病理) 遠藤 由香利
「空気圧駆動によるリハビリテーションデバイスとパワーアシスト装置の開発」 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 理工学域 教授 高岩 昌弘
「立位姿勢における骨盤傾斜角度を推定する方法の開発」 大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科 教授 岩田 晃